

300および500シリーズマネージドスイッチでのTelnetサービスの有効化

目的

Telnetは、インターネットまたはLAN上のコマンドラインインターフェイスでデバイスを制御できるようにするネットワークプロトコルです。Telnetが有効な場合、管理者はTelnetクライアントアプリケーションを使用してスイッチを設定できます。ただし、Telnetメッセージは暗号化されないため、SSHサービスを使用することをお勧めします。

この記事では、SF/SG 300およびSF/SG 500シリーズマネージドスイッチでTelnetサービスを有効にする方法について説明します。

該当するデバイス

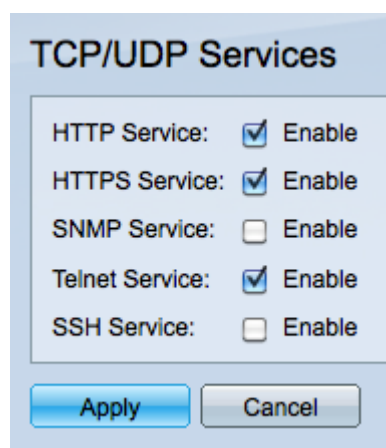
- ・ SF/SG 300シリーズマネージドスイッチ
- ・ SF/SG 500シリーズマネージドスイッチ

[Software Version]

- ・ v1.4.1.3

Telnetサービスの有効化

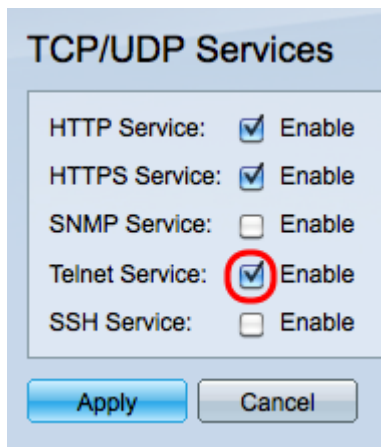
ステップ1: Web構成ユーティリティにログインし、[Security] > [TCP/UDP Services]を選択します。[TCP/UDP Services]ページが開きます。



TCP/UDP Services	
HTTP Service:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
HTTPS Service:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
SNMP Service:	<input type="checkbox"/> Enable
Telnet Service:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable
SSH Service:	<input type="checkbox"/> Enable

Apply Cancel

ステップ2: [Telnet Service] チェックボックスで [Enable] をオンにして、Telnetを使用したスイッチのアクセスを有効にします。

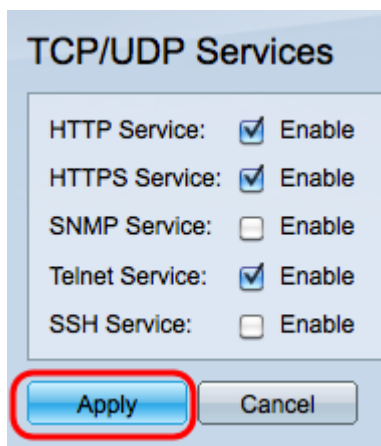


TCP/UDP Services

HTTP Service:	<input checked="" type="checkbox"/>	Enable
HTTPS Service:	<input checked="" type="checkbox"/>	Enable
SNMP Service:	<input type="checkbox"/>	Enable
Telnet Service:	<input checked="" type="checkbox"/>	Enable
SSH Service:	<input type="checkbox"/>	Enable

Apply Cancel

ステップ3:[Apply] をクリックして、Telnetサービスをすぐに有効にします。



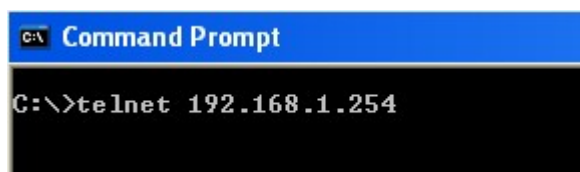
TCP/UDP Services

HTTP Service:	<input checked="" type="checkbox"/>	Enable
HTTPS Service:	<input checked="" type="checkbox"/>	Enable
SNMP Service:	<input type="checkbox"/>	Enable
Telnet Service:	<input checked="" type="checkbox"/>	Enable
SSH Service:	<input type="checkbox"/>	Enable

Apply Cancel

注：Windowsオペレーティングシステムの場合、Telnetコマンドは、オペレーティングシステムを介して有効にされるまでCMDで使用できません。詳細については、「[Windows Telnet:よく寄せられる質問](#)」ページ。

ステップ4:Telnet経由でスイッチにアクセスするには、コマンドプロンプトを開き、**telnet n.n.n.n**と入力します。グラフィカルユーザインターフェイスへのアクセスに使用したのと同じユーザ名とパスワードを入力します。



```
C:\>telnet 192.168.1.254
```

注：n.n.n.nは、スイッチのIPアドレスを表します。スイッチのデフォルトIPアドレスは192.168.1.254です。